

# 「空飛ぶクルマ」の社会実装に向けた 取組状況について

大阪府・大阪市

**1. 大阪の提案内容及び国の基準整備について**

**2. 大阪における取組**

**(1) 内閣府調査事業を活用した検討**

**(2) 万博に向けたポート整備**

**(3) ポート整備への支援**

# 1. 大阪の提案内容及び国の基準整備について

## ○大阪の提案

令和4年12月に大阪府市で策定した大阪スーパーシティ全体計画において、大阪・関西万博時に空飛ぶクルマの社会実装をめざし、規制改革の内容等をとりまとめ。

大分類	先端的サービス項目	規制改革の内容	備考
大阪・関西万博における空飛ぶクルマ	⑨大阪市内、関西の主要空港、観光地を結ぶアクセス整備を、空飛ぶクルマの社会実装で実現	空飛ぶクルマの社会実装に向けた制度整備【航空法等】 搭載義務燃料の設定、離着陸時の進入表面のこう配条件の緩和、機体充電作業の軽微な保守への位置づけポート設置における許可取得の申請手続き簡素化等	【検討中】 内閣府調査事業により左記の制度設計等を検討中

出典：大阪スーパーシティ全体計画

## ○国の基準整備

国の官民協議会において検討が進められ、関連する省令の改正及び「パーティポート整備指針」が策定。その他必要な基準整備も令和6年に予定。

## ○事業者の取組

万博における運航事業者、使用予定機体が決定。各機体メーカーが認証取得に向けた技術開発を推進。

- 万博時の運航に向けたポートや運航関係の基準に関し、国において一定の整理がなされた。これらの基準整備や機体開発の状況を踏まえ、万博での運航実現に向け、ポート整備への支援など府市の取組を進める。
- 万博後の空飛ぶクルマの普及に向けた規制改革の議論は引き続き必要と認識。

## 2.大阪における取組

### (1) 内閣府調査事業を活用した検討

令和4～5年度に、事業者において内閣府の「先端的サービスの開発・構築等に関する調査事業」を活用し、大阪・関西万博へのアクセスに向けた離発着ポート候補地（大阪ベイエリア）と想定飛行経路について、調査・分析により実現性を検証中。

#### ⑧ 空飛ぶクルマの大阪ベイエリア航路実現性の調査

##### 先端的サービスのポイント

- ・2025年の大阪・関西万博における日本初の「空飛ぶクルマ」の社会実装に向けて、大阪のスーパーシティの区域指定を契機として、大阪ベイエリア等における離発着ポートや飛行経路の実現性を検証する

##### 関連する規制改革提案

- ・「空飛ぶクルマ」の離発着ポートの設置に向けた制度整備（航空法第79条、同法施行規則第2条、場外離着陸許可の事務処理基準等）
- ・「空飛ぶクルマ」の機体や運航の安全基準に関する制度整備（航空法第11条、第63条、同法施行規則第153条等） 等

##### 具体的な事業内容

- ・大阪・関西万博時の2地点間運航実現に向け、大阪ベイエリアの離着陸場候補地について、必要となるインフラや飛行航路の検証を行う。
- ・大阪・関西万博後の商用運航の拡大を見据え、その他の有望なポート候補地の検討と、ポートの設置に当たっての制度上の課題等について検証を行う。

##### 事業実施エリア

- ・大阪府大阪市(大阪ベイエリア及び他の有望なポート候補地)

##### 事業実施体制

- (代表者) グローピング  
(構成員) SkyDrive、朝日航洋、大阪公立大学、大林組、  
関西電力、近鉄グループホールディングス、大日本印刷、  
東京海上日動、日本工営、三菱電機  
(協力) 大阪府、大阪市

##### ○主な事業実施エリア



##### ○社会実装に向けたスケジュール

2022年度

- ・ベイエリアにおける離着陸場候補地と航路実現性の概要検証・評価

2023年度

- ・万博時の2地点間運航に向けたベイエリアの離発着ポートに必要なインフラや飛行航路等の検討
- ・その他の有望なポート候補地の検討と、ポートの設置に当たっての制度上の課題等について検証 等

2024年度

- ・離発着ポートの設置、運航支援体制・拠点、データ基盤等の検討・整備
- ・資金調達スキームの検討・構築
- ・デモフライト 等

2025年度

- ・大阪・関西万博における「空飛ぶクルマ」の飛行実現

2026年度～

- ・「空飛ぶクルマ」の商用運航の拡大

## 2.大阪における取組

### (2) 万博に向けたポート整備

大阪・関西万博での運航実現に向け、関係者で連携してポート整備の取組を推進。

〔2025年日本国際博覧会協会〕万博における空飛ぶクルマ運航事業者、会場内ポート運営者の公表（令和5年2月21日）

#### 運航事業者選定

- ANAホールディングス株式会社及びJoby Aviation Inc.
- 日本航空株式会社
- 丸紅株式会社
- 株式会社SkyDrive

#### 会場内ポート運営者決定

- オリックス株式会社

「大阪・関西万博 空飛ぶクルマ 準備会議※（第1回）」開催（令和5年2月27日）

- ・ 次の3地区を大阪における会場外ポート候補地として先行的に検討する。
  1. 大阪港地区（中央突堤）
  2. 大阪城東部地区（森之宮）
  3. 桜島地区（USJ南部）
- ・ 今回の3地区及び関西国際空港をはじめとして、今後も候補地を検討していく。

※ 国（内閣官房・経済産業省・国土交通省航空局）、博覧会協会、運航事業者（ANAホールディングス及びJoby Aviation Inc.、日本航空株式会社、丸紅株式会社、株式会社SkyDrive）、ポート運営者等（オリックス株式会社・関西エアポート株式会社）、地元自治体（大阪府・大阪市）により構成

「大阪・関西万博 空飛ぶクルマ 準備会議（第2回）」開催（令和5年8月7日）

- ・ 万博時の2地点間運航の実現に向け、空飛ぶクルマの運航イメージ等について議論し、次の内容で合意。
- ・ 会場外ポート候補地に、尼崎地区（フェニックス事業用地）が追加され、新たに兵庫県が構成員として参加。
  - 日本航空株式会社は桜島地区、丸紅株式会社は尼崎地区（フェニックス事業用地）、株式会社SkyDriveは大阪港地区（中央突堤）を候補地として、引き続き具体的な検討を進めていくこと。
  - ANAホールディングス株式会社及びJoby Aviation Inc.は候補地の選定に向けて、引き続き具体的な検討を進めていくこと。

〔大阪市〕会場外ポート（中央突堤）の整備・運営事業者の公募開始（令和5年9月8日）

- ・ 大阪市は中央突堤での会場外ポートの整備を進めるため、会場外ポート整備及び維持管理・運営を行う事業者の公募を開始（公募型プロポーザル方式）。

※土地の使用料等を免除するほか、整備事業にかかる経費（整地・舗装、格納庫・電源設備設置）への補助を行う。  
（補助率は対象経費3/4を上限とし、総額2億7,750万円。補正予算を確保。）

## 2.大阪における取組 (2) 万博に向けたポート整備

### (参考) 各ポート候補地の概要

#### 尼崎地区 (フェニックス事業用地)

- 所在：兵庫県尼崎市
- 面積：未定

#### 桜島地区 (USJ南部)

- 所在：大阪市此花区桜島1丁目
- 面積：未定

#### 大阪城東部地区 (森之宮)

- 所在：大阪市城東区森ノ宮1丁目
- 面積：約12,000平米

#### 大阪港地区 (中央突堤)

- 所在：大阪市港区海岸通1丁目
- 面積：約10,000平米

万博会場内ポート

(大阪南部)

● 関西国際空港 (ポート)

★ …市有地 ● …その他

## 2.大阪における取組

### (2) 万博に向けたポート整備

#### (参考) 大阪・関西万博における空飛ぶクルマ 2 地点間運航の各社イメージ

※いずれの情報も関係者間で協議・調整を行っている段階のものであり、今後以下内容を前提に更なる協議・調整を進めるものとする。「2023年8月7日現在」

運航事業者	ANAホールディングス /Joby Aviation	日本航空	丸紅	SkyDrive
使用予定機体	 <p>©Joby Aviation</p> <p>Joby Aviation(米)</p> <p>〔 航続距離160km 定員5名 〕</p>	 <p>©Volocopter</p> <p>Volocopter(独)</p> <p>〔 航続距離35km 定員2名 〕</p>	 <p>©Vertical Aerospace</p> <p>Vertical Aerospace(英)</p> <p>〔 航続距離160km 定員5名 〕</p>	 <p>©SkyDrive</p> <p>SkyDrive(日)</p> <p>〔 航続距離15km 定員3名 〕</p>
想定する会場外ポート候補	<p>・会場周辺の湾岸・河川沿いの適地を念頭にANAホールディングス/Joby Aviationにおいて検討・調整中。</p>	<p>【桜島】</p> 	<p>【尼崎フェニックス】</p> 	<p>【大阪港・中央突堤】</p> 
運航イメージ		<p>・桜島-会場間の2地点間運航</p>	<p>・フェニックス地区-会場間の2地点間運航</p>	<p>・中央突堤-会場間の2地点間運航</p>

## 2.大阪における取組

### (3) ポート整備への支援

- 2025年大阪・関西万博を契機とした空飛ぶクルマの運航の実現に向け、大阪府内において空飛ぶクルマ専用離着陸場（ポート）等の拠点を整備し、将来にわたり継続的に離着陸場を活用した事業を展開する法人を支援。

#### 空飛ぶクルマ専用離着陸場等拠点整備事業補助金（令和5～6年度）

予算額 R5年度：5,000万円／R6年度：2億円

- 補助率：事業費の1/2以内
- 補助上限額：R5年度～R6年度の2カ年トータルで1件あたり上限5,000万円（うちR5年度は1,000万円まで）

#### 補助概要

- 事業者による離着陸場等の拠点整備に要する経費（設計及び整備費用等）の一部を補助
- R5年度～R6年度の2カ年のプロジェクトに対して補助を実施（万博での活用を想定）

補助対象事業	大阪府内において令和5年度・6年度の2カ年で空飛ぶクルマ専用の離着陸場等の拠点を整備・完了する事業
補助対象事業者	自ら離着陸場等の整備・運営を計画し、将来にわたり継続的に空飛ぶクルマの商用運航等の事業（運航事業者等との協業・連携含む）を展開する事業者 ※将来の施設運営計画等の提出を求める
スケジュール	令和5年10月6日～11月6日 公募を実施

